

2020年1月31日

MBTリンク株式会社

大和リースによる作業員向け暑熱ストレス予防システムの実証実験

MBTリンク社提供システムで実施

奈良県立医科大学発のベンチャー企業 MBT リンク株式会社（代表取締役社長：梅田智広 住所：奈良県橿原市四條町 840 番地 MBT 研究所内 設立：2018 年 10 月 以下 MBT リンク）は、大和ハウスグループの大和リース株式会社（本社：大阪市、社長：森田俊作 以下 大和リース）が、2019 年 7 月 29 日～9 月 28 日に実施した、建設現場や工場の作業員向け暑熱ストレス予防システムの実証実験に、ウェアラブルセンサーや通信機器（スマートフォンアプリ）、クラウドシステムを提供しました。安全に働ける環境整備を目指し作業員向け暑熱ストレス予防システムの有用性を実証することを目的としています。

MBTリンクが開発したウォッチ型バイタルセンサー「MBT スマートウォッチ」とオムロン製環境センサー「形 2JCIE-BL01」を使用し、心拍や活動量といったバイタルデータに加え、温度、湿度、照度、UV、気圧、騒音、不快指数、暑熱警戒度といった環境情報、さらにはスマートフォンにて測定している位置情報を MBT のクラウドサーバーに送り、作業員の状態を分析します。

クラウドサーバーは、分析結果に基づいた注意喚起を、管理者や作業員が持つタブレット端末やスマートフォンに加え MBT スマートウォッチにも通知します。作業員に対し、作業の合間であっても、MBT スマートウォッチのメッセージ表示と振動により、素早い気づきを促します。また、管理者はグループ配信機能により、作業員全体の状況を迅速に把握できます。

今回の実験では、大和リースの社員と作業員、関西地域 80 名、関東地域 20 名の合計 100 名が参加し、実証実験を行いました。昨年に引き続き本年が 2 回目の実証実験となります。今回の実証実験により、センサーの操作性や使い勝手を検証し、暑熱対策における有効性の確認を行い、将来的な導入に向け取り組んでいきます。

本実証実験について大和リースの技術本部、施工推進部 部長 岡山様は、以下のようにコメントしています。

「2018 年の実証では、衣服の上に心拍センサーを装着し、環境センサーは現場に一定間隔で配置しましたが、今回は、ウォッチ型のバイタルセンサーに変更、環境データの計測も個人ごとに行うよう、現場での運用面を考慮した変更がなされました。現場からは、着替えや洗濯の手間が省け、時計代わりにも利用できるという面で、メリットがあったとの意見も返ってきております。実装には、携帯アプリでの個人認証の簡素化など、さらに改善いただきたい点もありますが、建設現場や工場従事者が抱える暑熱対策問題へのソリューションサービスとして非常に期待しております。」

以上

MBT スマートウォッチと環境センサーを装着



社名 MBTリンク株式会社
所在地 〒634-0813 奈良県橿原市四条町 840 番地 奈良県立医科大学 MBT 研究所内
設立 2018 年 10 月
資本金 6,500 万円
代表者 代表取締役社長 梅田 智広
URL www.mbtlink.com

【代表経歴】

梅田 智広 (MBT 研究所 研究教授)

1974 年生まれ。1999 年東京理科大学基礎工学研究科大学院卒。同年三菱マテリアル(株)入社。オリンパス(株)を経て、東邦大学医学大学院、東京理科大学専門職大学院総合科学研究科(MOT)修了、慶應義塾大学理工学研究科総合デザイン工学専攻単位取得退学。2006 年東京大学工学系大学院特任助教。東京理科大学総合機構客員准教授、慶應義塾大学大学院政策メディア研究科特任助教、東邦大学医療センター大橋病院整形外科学講座客員講師、2011 年奈良女子大学社会連携センター特任准教授。2015 年奈良県立医科大学 MBT 研究所研究教授。2019 年東京大学客員教授。医学博士、技術経営修士。MBT 研究所副所長

本プレスリリースに関する連絡先

e-mail info@mbtlink.com

*本プレスリリース掲載の各固有名称は、各社の登録商標、または商標です。

*本プレスリリース掲載の内容は、予告なく変更されることがございます。

以上